

物と情報の時代

現代社会は、物と情報の価値観が優先され、本来あった目に見えない価値観が、責任や義務が軽視されてきているようでありませう。

「嘘をつかない」「他人に迷惑をかけない」「命や食べ物を粗末にしない」などの素朴な価値観は、欧米の新自由主義の浸透で、これまでの価値観が浸食されて物質優先になったようです。

結果、出口が見えない日本の閉塞状態を招き入れたのでしよう。

これが我々が目指す本当の「豊かさ」の実現なのでしようか。

米国に追従が豊かさの実現なのでしようか。腐りかけた屍臭が漂っていないでしようか。

異常で悲惨な事件の社会現象は問題の深刻化を物語り、「拝金主義」「欲」のため明らかに日本は病んでいるように見える。

手ぶら出来て、偽装工作を積み上げ、乗っ取りを正当化する行為は絶対に許されるものではありません。

資本の論理でもなく、自分勝手な利権を振り回し、公判でも誹謗中傷を繰り返し、味噌も糞もあつたものではない。

小学生でも分かることです。倫理上も許されるものはありません。

情けは人の為ならず

「自利」を望むのであれば、「他利」なくしてはあり得ない。

これは、風呂の水を自分に引き寄せれば必ず水は逃げる、他へ押しやればやってくるのが自然の節理なのであります。

結局、他利が自利なのであります。ましてや、恩を仇で返す。

す輩は天罰必中が世の習い事です。これを仏教で因果応報ともいい、すべて過去の投影が現れるのです。まさに世の中「天網恢々にして疎にして漏らさず」なのです。

「良いことをすれば良い結果が生じ、悪いことをすれば悪い結果となって現れる」ものです。

周りを見ても、長い目で見れば一時的には不公平に見えても、恐ろしいほどに、報いが帰ってきています。



私には語るべき夢がある

あなたは何歳まで生きるのですか。日本人は、平均で女性は7・6年、男性は6・1年の寝たきり生活を送っています。昨日、母の三回忌が終わった。

「長寿を大切に生きる」とは単なる生きることとは違うハズだ。どうしたら満足に死ぬか、生きるために、自分の死に時を知りたことも大切なことと思うのです。

私は先輩の事務所の復興、地域から世界に未来を切り開く夢がある。

(有)西川経営オフィスサービス
中村会計 事務所便り
 2011年8月1日 (月) NO. 215
 地域から明るい未来を作ろう

お盆休み・8月15日～16日

広島原爆とフクシマ

戦勝国の論理は二度の原爆を正当化し、今もホロコースト以上の戦争犯罪を容認している。かたや旧政権の財、官僚の利権犯罪の失政が、これから何世代に渡って赤ん坊を含めて全国民が放射能の犠牲となる、国家搾取の利権犯罪に手を染めている。

か、田舎や山間部に行けば顔のどかい看板がヤケに目につきます。そのたび、私は本当に気分が悪くなり、怒りに震えるのを、国内外にさらしたものです。日本の恥であります。

地元の駅前を見事な廃墟にして一体何をしたのでしよう。日本の顔になり当時県民に恥を、国内外にさらしたものです。日本の恥であります。

空きカンは資源ゴミに利用できなが、看板は実に身体に悪い。民の投影なのです。

で、あえて見ないようにしてしまぎるが、看板は実に身体に悪い。民の投影なのです。

ぎそれぞれで何処か良くなったのでしようか。日本の政治は、国民の投影なのです。

雇気楼は幻です。弱者の目の錯覚であります。貢